

地域に根ざし・地域とともに伸び合う今中生

南越前町立今庄中学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	2回
中学校区を単位とした協議会	1回
地域及び家庭への学校公開	3回(のべ) 3日

(2) 地域人材の活用(のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	15人
授業ボランティア(含:低ボラ)	0人
登下校支援ボランティア	0人
その他()	人

(3) 特色ある活動

テーマ「地域に根ざしたふるさと教育」

具体的活動内容

親子奉仕作業や地域行事への参加を通して人と関わり、郷土の自然や伝統に触れることによって、ふるさと「今庄」を愛する心を育む。

本校では、各学年や各地区で親子共同で各種奉仕作業を実施している。どれも自然に囲まれた今庄地区ならではの体験活動である。特に3年生の活動は、南越農林総合事務所林業部や南条郡森林組合の方々の協力を得ながら、学校林の下草刈りや枝打ち・間伐・各種看板設置・苗木の植樹作業等の体験と共に森林学習を併せて行い環境の大切さを学ぶ機会ともなっている。今年度は、間伐で伐採した樹木を今庄旅籠塾の壁に活用することになり、旅籠塾に関する学習も行った。また、2年生は雪囲い、1年生は学校周辺の除草作業を通して、愛校心を育むことができた。



さらに、各地区で実施される行事にも、積極的に参加している。地区体育祭・文化祭や街道浪漫今庄宿には、例年参加しているが、いつも地域の方々から感謝の言葉をいただき、生徒たちの励みとなっている。街道浪漫では「蛇踊り」を披露し、毎年地域の方に喜ばれている。地域の方たちとの交流は、学校の中では体験できない貴重な機会となっている。



成果と課題

各学年における体験活動の充実は、多様な人との共生や地域社会への貢献の大切さを、生徒たちに意識づけることができ、地域・家庭との連携も深まった。「地域・学校協議会」においては学校の現状を話し合い、家庭・地域・学校それぞれの教育力向上に向けての意見交換ができた。今年度は、小中合同の地域・学校協議会を開催し、小中学校間での意見交換や取組報告を通して理解を深めることができた。また、学校公開時の授業参観では、学校行事では見られない生徒の様子を見ていただくことができ、意義ある時間になったと思われる。

今年度も保護者・地域から、多大な支援と信頼をいただくことができた。次年度もより信頼される学校となるよう、家庭・地域そして地域学校協議会等との連携を深めるとともに、小中学校間の壁をなくして、中学校区全体の児童生徒の成長を支援していきたい。そのためにも、学校への理解を深めていただける機会や場をより多く工夫し、情報発信していくことが重要だと思われる。

